

## 4年生主導の清掃活動がふるさとの海と砂浜を未来につなぐ

### 文部科学大臣賞 石川県 かほく市立七塚小学校

日本海に沿ってまっすぐのびる白い砂浜まで、徒歩数十秒の至近距離に位置する同校。学校行事などでよく活用するこの砂浜は、児童にとっても親しみ深い場所だが近年、漂着ごみが目立ち、浜幅が狭くなってきた。そこで、環境をテーマに取り組む4年生が、総合的な学習や他教科を連動させて、海の保全に向けた行動を開始。

まず、海岸で実態調査を行い、どんなごみが多いのかを昨年度と比較しながら問題意識を高めていく。その後、地域の浜を守るために何ができるかを検討し、児童会に「海浜クリーン作戦」を提案、1990年から全校児童で実施している。

さらに広く呼びかける必要性を実感した児童は、クリーン作戦ボランティア募集のポスターを手づくりし、公共施設や商店などに掲示依頼した。同時に、住民をはじめ、水難事故防止教室でお世話になっている金沢海上保安部にも協力をお願いするなど、学校を超えて地域を巻き込んだ取り組みに発展。

美化活動を通して課題を見つけた児童は、海洋ごみ問題などより掘り下げたテーマで新聞制作にも挑む。4年生が主体となって発信するこれらの取り組みは、既に体験した5、6年生がサポートして、より強固な体制を築いているのが最大の特徴である。

また、コミュニティ・スクール制度の導入で、地域との連携がスムーズになり、一昨年からは、絶滅の危機に瀕していた地域の木津桃の木を復活させる新たな取り組みに6年生が挑戦。

その講師を務める住民の越野正勝さんは、「児童が地域のことを深く知ることは非常に大事で、子どもたちが大人になり社会や海外に出たときに、いろいろな人たちと交流、理解し合う際にとっても役に立つ」とその意義を強調する。

青く透き通る大海原と、風紋があらわれる白い砂浜。そして春を告げる満開の桃の花。そんなふるさが誇る光景を思い描きながら、次世代に引き継ぐための児童の取り組みは続く。



#### 石川県かほく市立七塚（ななつか）小学校

学校長：坂本 由紀子（さかもと ゆきこ）

児童数：252名（2018年11月末現在）

住所：石川県かほく市木津ホ 61番地 1

電話：076-285-0022

アクセス：JR「横山」駅よりクルマで約5分

写真上：七塚の白砂に散乱する漂着ごみを回収、上から2番目左：ゼッケンの色で分別する工夫、右：ペットボトル容器が目立つ海岸、上から3番目：短時間で積み上がる漂着ごみの山、下：満開の木津桃の傍らで住民と花見交流会